

ランチタイムセミナー



日時：9月11日（木）12：50－13：50

会場：第1会場（中ホール）

テーマ

後援：男女共同参画学協会連絡会

「“当たり前”を見直す旅へ： 海外で“マイノリティ”を経験する意義」

話題提供者

師田 郷太氏

（東京大学 大学院農学生命科学研究科）

【略歴】

2025 - 現在：東京大学 准教授

2018 - 2024：バージニア工科大学 助教授・准教授

2014 - 2018：ネブラスカ大学リンカーン校 助教授

2014: ウィスコンシン大学マディソン校 Ph.D.

日本のアカデミアにおいては、依然として男性研究者が多数を占めており、特に研究現場では女性研究者やマイノリティのプレゼンスが極めて低い状況が続いている。このような環境において、男性であることは無意識のうちに「多数派」としての立場を享受しており、その特権性に気づきにくい点が挙げられる。本講演では、男性研究者が、海外での留学や研究活動を通じてマイノリティの立場を経験することの意義について取り上げる。異なる言語、文化、価値観の中で生活・研究を行うことは、自らの前提を相対化し、他者の視点を想像する力を育む貴重な機会である。とりわけ、文化や国籍といったアイデンティティにおいて少数派となることで、「聞かれない声」「見えにくい課題」に対する感受性を高めることができる。このような経験は、日本社会における無意識のバイアスや構造的な不平等を認識し、より包摂的な研究環境の構築に貢献する第一歩となるはずである。本講演では、師田氏の17年近くに及ぶ米国での海外経験を踏まえながら、マイノリティ経験を通じて得た気づきや視点の変化について共有していただく。また米国での就職、キャリアプラン、ライフワークバランス、配偶者雇用制度等に関してもご紹介いただく。

お弁当を用意しています。お気軽にご参加下さい。

※11日9時～企業展示+ポスター会場（大ホール）にて整理券を配布いたします
（先着100名様）

「男女共同参画推進委員会」はより広範な公平性を目指すため
2024年9月に名称を「ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進委員会」に変更しました